

# 生活科学学習指導案 (小学校1年生)

## 単元名「なつだ あそぼう」(6)

### I 単元の構想

#### 1 目標

シャボン玉遊びやシャボン玉の吹き口作りを工夫することを通して、シャボン玉の不思議さや面白さに気付き、安全に気を付けて、友達と遊びを楽しむことができる。

#### 2 評価規準および児童の実態

	評価規準	児童の実態
生活への関心・意欲・態度 (ア)	・ <u>関心・意欲・態度</u> 友達と楽しくシャボン玉遊びをしている。	— 略 —
活動や体験についての思考・表現 (イ)	・ <u>思考・判断・表現</u> 友達の工夫を参考にして、道具や飛ばし方を工夫している。	— 略 —
身近な環境や自分への気付き (ウ)	・ <u>気付き</u> 遊びの楽しさや自然の不思議さに気付いたり、一緒に遊んだ友達の良さに気付いたりすることができる。	— 略 —

#### 3 単元計画および指導方針

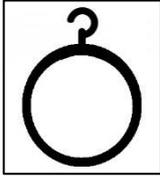
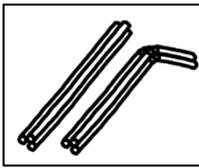
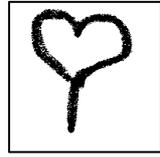
時	遊	学 習 活 動	評 価	指 導 方 針
1	であう	夏の遊びを振り返ろう ○経験したことのある夏の遊びの体験を出し合い、単元のめあてを作る。	ア	・シャボン玉遊びを通して、「もっとこうしたい」という一人一人に思いや願いを出させることで、単元全体の目標「オリジナルシャボン玉をつくろう」をもつことができるようにする。
【単元の課題】オリジナルシャボン玉をつくって、シャボン玉発表会をしよう。				
2		シャボン玉で遊ぼう ○シャボン玉で遊んでみる。	ウ	・シャボン玉遊びを通して、シャボン玉の特徴や風の吹き方によるシャボン玉の流れ方などに気付くことができるようにする。
3	はたら	オリジナルシャボン玉をつくろう ○作りたいシャボン玉のイメージを考える。	イ	・シャボン玉遊びに使用する道具を共通の吹き口からストロー、次に様々な道具へ段階的に変化させていくことで、工夫する視点を明確にしたり、気付きを次に生かしたりしながら活動することができるようにする。
4	きか	オリジナルシャボン玉をつくろう ○グループで意見交流をするなどして、シャボン玉の吹き口の工夫を考える。	イ	・オリジナルシャボン玉を作る途中で、グループでの話し合い活動を取り入れることで、児童同士で気付きを共有したり、友達と協力したりする活動の楽しさを味わうことができるようにする。
5	本時	オリジナルシャボン玉をつくろう ○友達からのアドバイスを受けて、自分の吹き口を作成する。	イ	
6	ふりかえる	シャボン玉発表会をしよう ○これまでの活動を振り返り、オリジナルシャボン玉について発表する。	ウ	・毎時間、自分の活動を振り返り、その時間のめあてに対する自分の達成度を記号 (◎・○・△) で表すことで、振り返りの視点を明確にできるようにする。 ・毎時間つけた振り返りの記号からこれまでの活動を振り返り、自分自身のできるようになったことや楽しめたことなどを実感できるようにする。

## II 本時の学習

### <ねらい>

身の回りのものを使ってシャボン玉で遊ぶことを通して、「どうしたら自分の作りたいシャボン玉ができるか」という観点で、より自分の思いに合ったシャボン玉を作るための工夫を考えることができるようにする。

### <板書計画>

めあて	<おおきいしゃぼんだま チーム>	
みぢかなものをつかって、オリジナルしゃぼんだまづくりをするにはどうしたらいいか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンガーをつかった</li> <li>・ハンガーをおおきくひらいてみた</li> </ul> アドバイス はりがねをがったいさせる	
<どうぐ>	<たくさんでるしゃぼんだま チーム>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストロー ・ハンガー</li> <li>・モール ・けいと</li> <li>・うちわ など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローをたくさんがったいさせた</li> <li>・さきをひらいてみた</li> </ul> アドバイス うちわをつかうといい	
<じゅぎょうのながれ>	<かたちしゃぼんだま チーム>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 めあて</li> <li>2 ざいりょうのかくにん</li> <li>3 ためしてみる (ひとり)</li> <li>4 アドバースタイム (グループ)</li> <li>5 かたづけ</li> <li>6 ふりかえり</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モールでかたちをつくった</li> </ul> アドバイス もっとやさしくふいてみる	
	振り返り	
	ともだちのアドバイスをきいたらいいほうほうがおもいついた	

### <展開>

学習活動	指導上の留意点
<p><b>1 本時のめあてをつかむ。(10分)</b>                      ○前時に「オリジナルシャボン玉設計図」を描いたことを想起させ、本時は自分だけのオリジナルシャボン玉を作ることを確認する。                      T：前の時間にシャボン玉設計図を描いたね。どんなシャボン玉が作りたいのかな。                      S：大きなシャボン玉を作りたい。                      S：一度にたくさん出るシャボン玉を作りたい。</p> <p>&lt;めあて&gt;                      身近なものを使って、オリジナルシャボン玉をつくるには、どうしたらいいか。</p> <p>・授業の流れを掲示し、活動の順序を確認するよう促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 めあて</li> <li>2 ざいりょうのかくにん</li> <li>3 ためしてみる① (ひとり)</li> <li>4 あどばいすたいむ (ぐるうぶ)</li> <li>5 かたづけ</li> <li>6 ふりかえり</li> </ol> <p>・今回使うことができる材料や用具を使うときの注意点を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分だけのオリジナルシャボン玉を作り、発表する」という単元のめあてを想起させることで、見通しをもって活動ができるようにする。</li> <li>・前時までに取り組んだ工夫を掲示することで、本時の吹き口作りにもその工夫を活かせるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れを掲示することで、本時の活動の見通しがもてるようにする。</li> <li>・道具の使い方を十分に説明することで、安全に活動ができるようにする。</li> <li>・太さや長さの異なるストローを準備したり、ストローへの切り込みの長さや数などの工夫の視点を明確にしたりすることで、比べたり試行錯誤したりしながら工夫して活動できるようにする。</li> </ul>
<p><b>2 身近なものを使って、オリジナルシャボン玉の吹き口を作る。(10分)</b>                      ○「道具コーナー」からオリジナルシャボン玉の吹き口に使えるような材料を自分自身で選び、個別に制作に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「道具コーナー」に吹き口作りに使えそうな身近な材料を用意することで、児童が自分の作りたいシャボン玉に必要な材料を自由に見つけ出し、遊ぶことができるようにする。</li> </ul>

<p>取り組む。  T：自分のオリジナルシャボン玉にぴったりの材料を持っていこう。  S：僕は一度にたくさん出るシャボン玉を作りたいから、ストローをたくさん持っていこう。  S：この前使ったストローが今日も使えるかも。</p> <p><b>3 オリジナルシャボン玉を作ることができたかどうか、グループで工夫したところや改善点を話し合う。(15分)</b>  ○自分の吹き口とできたシャボン玉を紹介し、グループで工夫や改善点を話し合う。  T：自分の吹き口を友達に紹介して、もっとよくなるアドバイスを友達からもらおう。  S：○○ちゃんの工夫、真似してみたいな。  S：○○君から「こうしたほうがいいよ」ってアドバイスしてもらったよ。</p> <p><b>4 交流で得た工夫をワークシートにかきこむ。(5分)</b>  ○友達から得た工夫やアドバイスをワークシートに言葉や絵でかきこむ。  T：友達からもらったアドバイスを絵や字でワークシートにかこう。  S：次は○○ちゃんがやっていたみたいに、モールを使ってみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童のつぶやきに共感したり、工夫を称賛したりすることで、よい方法や児童の工夫を学級全体で共有できるようにする。</li> <li>・作りたいオリジナルシャボン玉ごとにグループを作ること、友達と気付きを共有したり、協力したりして活動することができるようにする。</li> <li>・つまずいている児童には、シャボン玉の息の強さや吹き口にシャボン玉液が付きやすい工夫を声掛けしたり、一緒にやってみたりする。</li> <li>・グループでの話し合い活動の後にワークシートに友達からのアドバイスを書き込むことで、次時に友達から得た工夫を試しながら制作することができるようにする。</li> </ul>
<p><b>5 本時を振り返り、次時への意欲をもつ。(5分)</b>  ○本時のめあてをもう一度想起し、自分の達成度を記号で表す。  T：今日のめあては達成できたかな。友達と工夫し合うことができたかな。  S：今日は◎の出来だったな。  ○どうしてその記号にしたのか、理由を考え発表する。  S：自分のイメージ通りのシャボン玉を作ることができたから、◎です。  S：ハートの形のシャボン玉ができなかったけど、友達からアドバイスをもらったから、次回はできそう。  ◎にしたよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日のめあてに対する自分の達成度を記号で表し、その理由を考えることで、目的を意識した振り返りができるようにする。</li> <li>・振り返りを発表することを通して、次々の意欲付けができるようにする。</li> <li>・自分の思うようなシャボン玉ができなかった児童には、グループで活発な意見交流ができたかで達成度を図るよう声掛けをする。</li> </ul> <div data-bbox="794 1279 1417 1413" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【評価項目】(イ 思考・判断・表現)</b>  友達の工夫を聞き、うまくいった方法や気付いたことをみんなに発表したり、カードにかいたりしている。(観察・ワークシート)</p> </div>
<div data-bbox="148 1451 1401 1592" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>&lt;振り返り&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のアドバイスを聞いて、吹き口を工夫できそうだよ。次の時間に作るのが楽しみだな。</li> <li>・友達がいい方法を教えてくれてよかった。今日もうまくいかなかったけれど、次こそは成功させるぞ。</li> </ul> </div>	